

# 第5回 札幌市シティプロモート戦略会議 開催結果概要

## 1. 開催概要

- 日 時 平成 23 年 11 月 14 日 (月) 16:00~18:00
- 開催場所 札幌市役所 19 階会議室
- 出席者 コミュニケーションデザイナー 小山内 美香  
経営コンサルタント 杉山 幹夫  
SODA 代表 曽田 雄志  
放送人の会幹事／STV 役員対偶メディア・プロデューサー室専任局長 林 健嗣  
株式会社コスモメディア編集局 局長 兼「poroco」編集長 八木 由起子  
株式会社カンディハウス道央支店 白鳥 孝  
<事務局>  
札幌市 市長政策室 プロジェクト担当部長 西野 守彦  
〃 課長 北川 憲司  
政策企画部 企画課 企画担当係長 中嶋 俊輔  
企画担当 川上 龍矢  
株式会社 KITABA 東村、宮崎、吉田、山内  
3KG 佐々木 (敬称略)

## 2. 議事 ※委員の発言の併記であり戦略会議の一致事項ではありません

### ① 現在進めているシティプロモートの取組みについて

- 札幌市では、留学生による自国での札幌発信を促したり、市長自ら姉妹都市などに訪問し PR するなど、継続的な取組みを行っている。
- 戦略会議メンバーも様々な場面でシティプロモートに関する取組みを進めている。
  - ✓ ブログや facebook を活用するなどして、北海道の魅力(食と観光)の発信を中心に取り組みを行っている。
  - ✓ 椅子などの家具に、そのまちの歴史や特徴をのせてデザインすることで、新しいコミュニケーションを広げていく活動を行っている。
  - ✓ 人がまだ戻っていない福島において、まちの良さが本当に伝わるWEBサイトを作ることで、被災地のシティプロモートを支援している。
  - ✓ 『札幌スタイル』のブランド力を向上させる取組みが必要だと考えている。
  - ✓ 市立大通高校では生徒が中心となり、民間企業と合弁会社を設立する予定があるほか、スマートフォン専門店もオープンさせた。
  - ✓ プロスポーツ選手やスポーツチームのサポーターとともに被災地へのボランティア活動を行った。その結果、生徒を中心とした団体が結成され、継続的な活動につな

がってきた。

- ✓ 震災後の状況においても、北海道または札幌のアピールの為に、札幌で国際会議を開催することができた。全国紙や中国紙、web などに“札幌”の記事が掲載される効果を生むことができた。アピールをしていくには発信してくれる人たちに協力してもらうことが重要である。
- ✓ 雑誌の訴求力をベースにして、香港からウェディング写真を撮り（ロケーションフォトウェディング）に来てもらったり、道産小麦を PR するなど、札幌や北海道の魅力の発信を続けている。

## ② シティプロモートの今後の展開について

- ・ シティプロモートのロゴは、誰もがパソコンで入力できるようにデザインされている。
- ・ シティプロモートのロゴは、使いやすさ、まちやものへの親和性も高く、シティプロモートのロゴとしてふさわしいデザインである。
- ・ シティプロモートのロゴは、どんな場面でも馴染み易く、なつかつ I♥NY のように T シャツにもプリントできるデザイン性を兼ね備えている。
- ・ このロゴを使って、すぐに下記の例に示すようなシティプロモートの取組みを行ってていきたい。
  - ✓ 『水曜どうでしょう』のステッカーや facebook のイイネ! のように、皆に浸透していくものとしたい。
  - ✓ とうきびワゴンの包装紙のように、札幌の魅力を感じる場面で見えるようにしてていきたい。
  - ✓ ロゴを使ったスマートフォンケースは、すぐに商品化を進めたい。
  - ✓ 札幌市役所ロビーに設置されているベンチにも貼ると良いのではないか。
  - ✓ 笑顔の良いお勧めのショップや店員さんに貼ってほしい。
  - ✓ 放送、映像関連の事業者に使ってもらうと訴求のスピードが早まる。
  - ✓ プロスポーツチームのユニフォームにロゴを貼ることも可能かもしれない。
  - ✓ スマイル大賞を認定することも考えられる。
  - ✓ 北海道大学や円山動物園でも活用していくことはできないだろうか。
- ・ 商標登録はせずに誰もがアレンジできたり、ロゴがまちの色々な場面で使われていくように広げていきたい。
- ・ 誰でも自由にアレンジを加えていくほど知れ渡っていってほしい。
- ・ オオドオリ大学でシティプロモートの授業を行うことも考えられる。